

ホソバカナワラビ

Arachniodes aristata (Forst.) Tindale

オシダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地がごく稀で個体数が少ない。(現況:RO)

形態

根茎は長く這い、鱗片は赤褐色、葉を散生する。葉は3回羽状複生、羽片は細長く、やや大型であり、最下羽片の下側最下の小羽片は著しく長い。

国内分布

本州(新潟県以西)、四国、九州。

県内分布

内浦区、南加賀区。

生態など

常緑生の半地中植物で、繁殖は根茎と孢子による。孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。

生育環境

低地の樹林下でやや乾燥した場所の地上に生育する。

危険要因

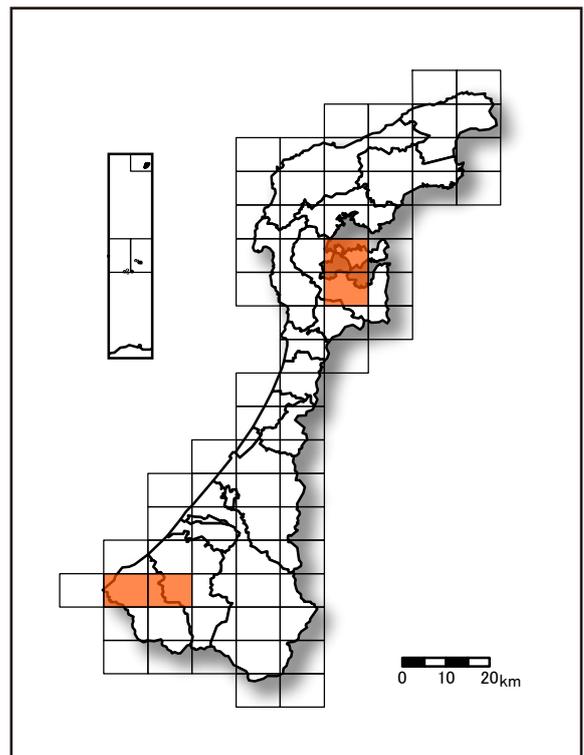
森林伐採、河川改修。

特記事項

南加賀のものは頂羽片が緩やかに細くなることで区別し、ミヤコカナワラビとされているが、形態など正式には未発表であり、今回は区分しない。



林 二良・2009年3月1日・中能登



県内の分布